

# 新型コロナワクチンの全額公費による接種は 令和6年3月末で終了します

- ◆新型コロナワクチンの全額公費による接種が令和6年3月31日で終了します。接種をご希望の方は、早めのご予約をお願いします。
- ◆令和6年4月1日以降、65歳以上の方および、60～64歳で対象となる方は、秋冬に定期接種を受けることができます。また、それ以外の方は任意接種として接種することが可能です。

<令和6年4月1日以降60～64歳で定期接種の対象となる方>

- ・心臓、腎臓、または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方
- ・HIV（ヒト免疫不全ウイルス）により免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

	特例臨時接種 (令和6年3月31日まで)	定期接種 (令和6年4月1日以降)	任意接種 (令和6年4月1日以降)
対象	生後6か月以上の全世代	65歳以上の方 60～64歳で定期接種の 対象となる方	生後6か月～64歳の方 ※60～64歳の定期接種 対象者を除く
目的	緊急時のまん延予防	個人の重症化予防	
費用	無料 (全額公費負担)	原則一部を自己負担	全額自己負担

## 【令和6年3月末までの新型コロナワクチン接種について】

### ●初回接種未接種の方

対象者	日時	会場	使用ワクチン
生後6か月～5歳	予約後に日程調整します	豊頃医院	モデルナ社製オミクロン株 XBB.1.5対応1価ワクチン
6歳以上			

※初回接種は4週間あけて2回の接種が必要です。

### ●初回接種を終了し、秋開始接種（令和5年9月20日以降の接種）未接種の方

対象者	日時	会場	使用ワクチン
生後6か月～5歳	予約後に調整します		ファイザー社製オミクロン株 XBB.1.5対応1価ワクチン
6歳以上	令和6年2月9日（金） 3月27日（水） 15時30分～16時	豊頃医院	モデルナ社製オミクロン株 XBB.1.5対応1価ワクチン

※前回のコロナワクチン接種（令和5年9月19日以前の接種）から3か月以上接種間隔をあける必要があります。

★予約お問合せはこちらから★  
役場福祉課健康係 ☎ 015-574-2214

関西から来た  
タカハシさん  
話 高橋 強  
絵 井下 竜弥

第9回  
十人十色、スケートも！



100mに挑む優羽



気合い十分の万奈



町民スケート大会  
全選手の滑走動画、  
YouTubeで公開中

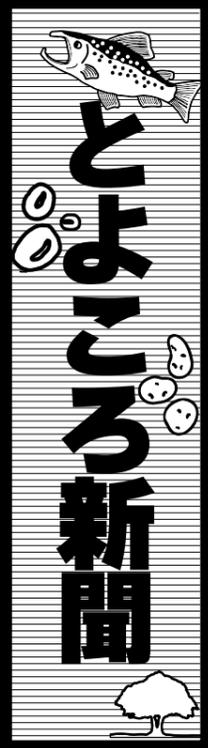
# 高橋家 関西人なのに滑る滑る滑る！

1月20日、町営スケートリンクで第48回豊頃町民スケート大会が開催された。11月22日に浦幌町営リンクで浦幌少年団と一緒に練習を始めてから2ヶ月。仕事とスケート、勉強とスケートをギリギリのバランスで過ごした成果を見せる時が来た。スケートの研磨は、長男は日下貴弘さんをお願いし、長女・次女・父のスケートは父が研いだ。当日はマイナス17度の冷え込みにたじろいだ高橋家だが、会場であんなと会うと、子供たちの気分は上々。朝から造成委員の方々が整備してくれたリンクは美しく仕上がっていた。しかし、こんな幸せなシーンの中に、ある選手がいないことが少年団に小さな影を落とす。少年団団長の横尾真央さんが前日深夜に体調を悪化させ、会場に来るものの無念の棄権を選択。前日の練習は元気がいっぱいだったし、準備体操やリンクでいつも一生懸命な背中が団員を引っ張っていた真央さん。ランニングで遅れてしまう長女や次女と並走してくれたりする優しい真央さんのことが、日奈と万奈は大好き。今回は残念だったけど、来年の町民大会では、一緒に激走できるのを楽しみにしている。

長女の日奈は250mと500mに登場。スタートの整列時に転倒したが、2人の同級生とこやかにスタートした。明石の保育園ではかけっこや跳び箱などが上手にできないせいからスポーツに苦意識がある日奈。そんな日奈がちゃんと完走した。「しんどかったけど、楽しかった！」と達成感の嬉しさを話した。（体育の授業で滑れるのが嬉しい日奈は、サンダラスをかけて一丁前感を出している）。一方、負けず嫌いの次女の万奈は250mに登場。年中ながら少年団の練習に参加して、必死についてきた。スタートの表情は日奈と対照的で真剣そのもの。独走する東條紗来ちゃんを追いかけたの2位。よほど頑張ったのか「ちゆかれた（疲れた）」と笑顔で話した。長男の優羽は500mと1000mに挑戦だ。10歳でスピードスケートを始めた長男の優羽は、兄弟の中で一番ハンデがあるかもしれない。なんでもそつなくこなすが、そこまで熱くなれない優羽は、スケートには夢中になった。「速く滑れるのが楽しい」

と語る優羽。夜は、日奈と万奈と共にユーチューブでダリストの滑走を見てイメージを膨らませてきた。500mのコーナーで転倒してしまったが、諦めずに完走したことは、彼の人生で大きな財産になるはず。なんてたって、勝つことより諦めないことの方が、ずっと難しいのだから。一般男子の部では、父の強が登壇。大学時代だけ取り組んだアイスホッケー経験はあるが、スピードスケートには初挑戦。豊頃のレジェンド山本雅樹さんに、乾坤一擲の勝負をかけるために、1000mに照準を合わせてきた。当日は飛び入りの川口知弘さんも加わり3人で滑走。全力を尽くすも第3位。豊頃のスケートティング技術の壁を思い知った。表彰式のみんなの笑顔は最高！大会運営スタッフの皆さん、家族や観戦者の応援は力になりました。スケート初心者の高橋家が頑張れたのは、少年団の東條コーチ、団員の皆さん、高橋家が頑張れたのは、少戸田・山田・小野寺コーチ、わがわが教えにきてくれた松崎樹さん、川口知弘さん、川口愛莉さん、そして立派なリンクを整備してくれた造成委員の方々、本当にたくさんの方々のおかげです。残り僅かのスケートシーズン。高橋家は完全燃焼するつもりだ。

100mのゴール後に転倒する父



2024年2月  
企画・取材・執筆  
撮影・デザイン  
イラスト/高橋 強  
豊頃新聞は、豊頃町へ移住した「地域おこし協力隊」の高橋家の些細な出来事や感動を届けるコーナーです

妻、右手腕負傷  
大会を撮影し、動画編集を一気に行った妻が右手腕を負傷。感謝。